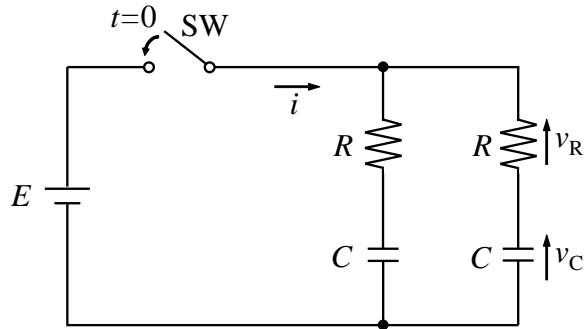


基礎演習 B 解答
2018 年 12 月 7 日実施分

1 問題 1

下図に示す回路について、 $t = 0$ でスイッチ (SW) を閉じて直流電圧 E を加え、時間が経過した場合の各素子に流れる電流、電圧の変化について考える。ただし、キャパシタに初期電荷はないとする。以下の問いに答えなさい。

- (1) コンデンサにかかる電圧 v_C を求めなさい。
- (2)(1) の結果をふまえ、コンデンサに流れる電流 i と抵抗にかかる電圧 v_R を求めなさい。
- (3)(1),(2) の結果をふまえ、横軸 t 、縦軸 i 、 v_C としたときのグラフ (変化傾向の概形) を描きなさい。



1.1 解答 (1)

電圧 v_C は定常状態及び過渡状態の電圧の和から求めることができる。
初めにスイッチを閉じた回路における回路方程式は式 (1) 及び式 (2) と表すことができる。

$$\frac{1}{C} \int \left(\frac{i}{2}\right) dt + R \frac{i}{2} = E \quad (1)$$

$$\frac{i}{2} = C \frac{dv_C}{dt} \quad (2)$$

また、電圧 v_C を用いて表すと式 (3) と表すことができる。

$$RC \frac{dv_C}{dt} + v_C = E \quad (3)$$

定常状態における電圧を v_s 及び過渡状態における電圧を v_t とすると、 v_C は式 (4) と表される。

$$v_C = v_s + v_t \quad (4)$$

定常状態の場合では、 $v_s = E$ が成り立つので、過渡状態の場合では回路方程式で $E = 0$ として、補助方程式をたて、式 (5) と導くことができる。なお、 A, C_0 は積分定数である。

$$\begin{aligned} RC \frac{dv_C}{dt} + v_t &= 0 \\ RC \frac{dv_C}{dt} &= -v_t \\ RC dv_t &= -v_t dt \\ \frac{1}{v_t} dt &= -\frac{1}{RC} dt \\ \int \frac{1}{v_t} dt &= -\int \frac{1}{RC} dt \\ \ln |v_t| &= -\frac{t}{RC} + C_0 \\ |v_t| &= \epsilon^{-\frac{t}{RC} + C_0} \\ v_t &= \pm \epsilon^{-\frac{t}{RC} + C_0} \\ v_t &= A \epsilon^{-\frac{t}{RC}} \quad (\text{ただし, } A = \pm \epsilon^{C_0}) \end{aligned} \quad (5)$$

v_C は v_s, v_t を用いて式 (6) と表すことができる.

$$\begin{aligned} v_C &= v_s + v_t \\ &= E + A\epsilon^{-\frac{t}{RC}} \end{aligned} \quad (6)$$

初期電荷は 0 であることから, $t = 0$ において, $v_C = 0$ であることから, 式 (7) が成り立つ.

$$\begin{aligned} E + A &= 0 \\ A &= -E \end{aligned} \quad (7)$$

以上から, v_C は式 (8) と導くことができる.

$$v_C = E(1 - \epsilon^{-\frac{t}{RC}}) \quad (8)$$

1.2 解答 (2)

電流 i は式 (9) と求めることができる.

$$\begin{aligned} i &= 2C \frac{dv_C}{dt} \\ &= 2C \frac{d}{dt} \{E(1 - \epsilon^{-\frac{t}{RC}})\} \\ &= 2CE \frac{1}{RC} \epsilon^{-\frac{t}{RC}} \\ &= 2 \frac{E}{R} \epsilon^{-\frac{t}{RC}} \end{aligned} \quad (9)$$

同様にして, 抵抗値 R の抵抗にかかる逆起電力 v_R は式 (10) と表すことができる.

$$\begin{aligned} v_R &= R \frac{i}{2} \\ &= E \epsilon^{-\frac{t}{RC}} \end{aligned} \quad (10)$$

1.3 解答 (3)

v_C, i の時間変化の波形は図 1 のようになる.

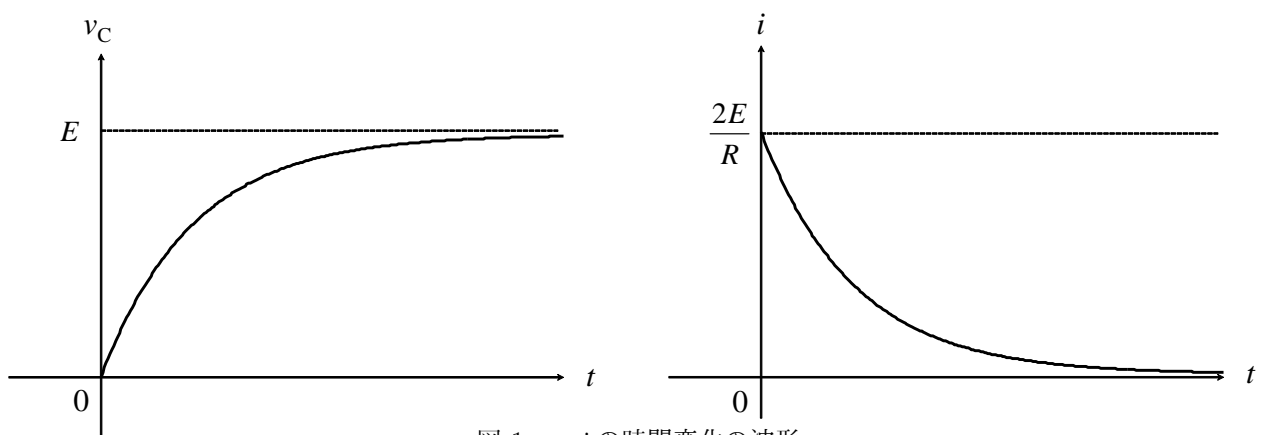


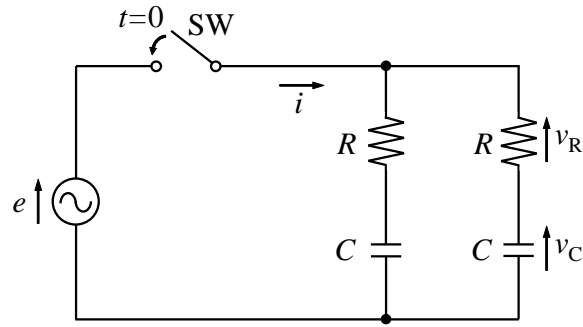
図 1: v_C, i の時間変化の波形

2 問題 2

下図に示す回路において, $t = 0$ でスイッチ (SW) を閉じて交流電圧 $e = E_m \sin \omega t$ を加えたとする。ただし, コンデンサに初期電荷はないとする。以下の問いに答えなさい。

(1) コンデンサにかかる電圧 v_C を求めなさい。

(2) コンデンサに流れる電流 i を求めなさい。



2.1 解答 (1)

スイッチを閉じた回路における回路方程式を立てると式 (11) 及び式 (12) と表すことができる。

$$\frac{1}{C} \int \frac{i}{2} dt + R \frac{i}{2} = E_m \sin \omega t \quad (11)$$

$$\frac{i}{2} = C \frac{dv_C}{dt} \quad (12)$$

初めに定常状態について考える。回路方程式より定常状態における電圧 v_s を式 (13) とおく。

$$v_s = V_m \sin(\omega t + \theta) \quad (13)$$

v_s を回路方程式に代入することによって式 (14) を導くことができる。

$$\begin{aligned} RC \frac{dv_s}{dt} + v_s &= E_m \sin \omega t \\ \omega RC V_m \sin(\omega t + \theta) + V_m \sin(\omega t + \theta) &= E_m \sin \omega t \\ V_m \sqrt{1 + (\omega RC)^2} \sin(\omega t + \theta + \phi) &= E_m \sin \omega t \end{aligned} \quad (14)$$

したがって、両辺を比較することによって、式 (15) から式 (16) が成立する。

$$\begin{aligned} E_m &= V_m \sqrt{1 + (\omega RC)^2} \\ V_m &= \frac{E_m}{\sqrt{1 + (\omega RC)^2}} \end{aligned} \quad (15)$$

$$\begin{aligned} \omega t &= \omega t + \theta + \phi \\ \theta &= -\phi = -\tan^{-1} \omega CR \end{aligned} \quad (16)$$

以上より、 v_s は式 (17) と導くことができる。

$$v_s = \frac{E_m}{\sqrt{1 + (\omega RC)^2}} \sin(\omega t - \tan^{-1} \omega CR) \quad (17)$$

次に過渡状態について考える。

回路方程式より、過渡状態における電圧 v_t は式 (18) と表すことができる。ただし、 A, C_0 は積分定数である。

$$\begin{aligned} RC \frac{dv_t}{dt} + v_t &= 0 \\ RC dv_t &= -v_t dt \\ \frac{1}{v_t} &= -\frac{1}{RC} dt \\ \ln |v_t| &= -\frac{t}{RC} + C_0 \\ |v_t| &= \epsilon^{-\frac{t}{RC} + C_0} \\ v_t &= \pm \epsilon^{-\frac{t}{RC} + C_0} \\ v_t &= A \epsilon^{-\frac{t}{RC}} \quad (\text{ただし, } A = \pm \epsilon^{C_0}) \end{aligned} \quad (18)$$

v_C は求めた v_s 及び v_t を用いて, 式 (19) と表すことができる.

$$\begin{aligned} v_C &= v_s + v_t \\ &= \frac{E_m}{\sqrt{1 + (\omega RC)^2}} \sin(\omega t - \tan^{-1} \omega CR) + A\epsilon^{-\frac{t}{RC}} \end{aligned} \quad (19)$$

$t = 0$ で v_C より, 式 (20) が成立する.

$$\begin{aligned} v_C &= \frac{E_m}{\sqrt{1 + (\omega RC)^2}} \sin(\omega t - \tan^{-1} \omega CR) + \frac{E_m}{\sqrt{1 + (\omega RC)^2}} \sin(\tan^{-1} \omega CR)\epsilon^{-\frac{t}{RC}} \\ &= \frac{E_m}{\sqrt{1 + (\omega RC)^2}} \left\{ \sin(\omega t - \tan^{-1} \omega CR) + \epsilon^{-\frac{t}{RC}} \sin(\tan^{-1} \omega CR) \right\} \end{aligned} \quad (20)$$

2.2 解答 (2)

回路全体に流れる電流 i は式 (21) と表すことができる.

$$\begin{aligned} i &= 2C \frac{dv_C}{dt} \\ &= 2C \frac{E_m}{\sqrt{1 + (\omega RC)^2}} \left\{ \omega \cos(\omega t - \tan^{-1} \omega CR) - \frac{1}{RC} \epsilon^{-\frac{t}{RC}} \sin(\tan^{-1} \omega CR) \right\} \\ &= \frac{2E_m}{\sqrt{1 + (\omega RC)^2}} \left\{ \omega C \cos(\omega t - \tan^{-1} \omega CR) - \frac{1}{R} \epsilon^{-\frac{t}{RC}} \sin(\tan^{-1} \omega CR) \right\} \end{aligned} \quad (21)$$